

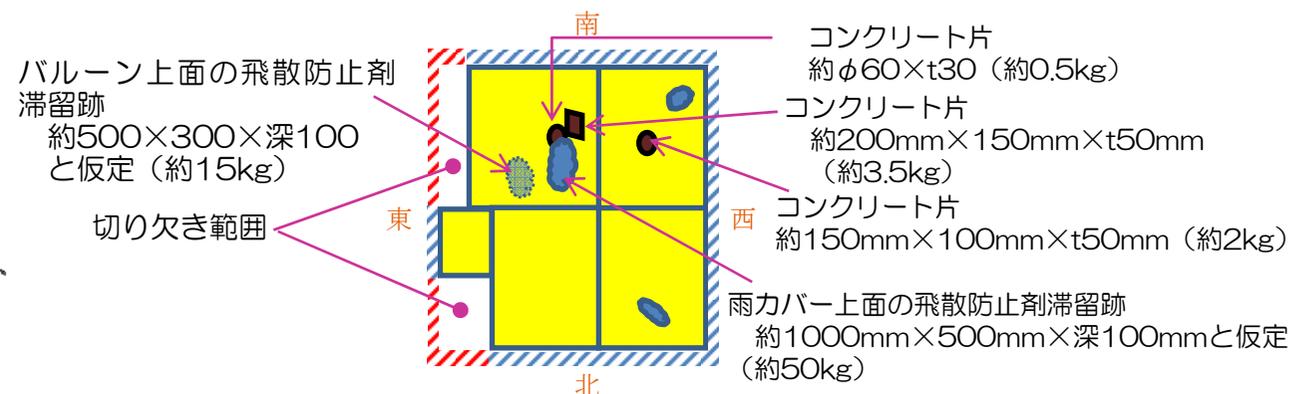
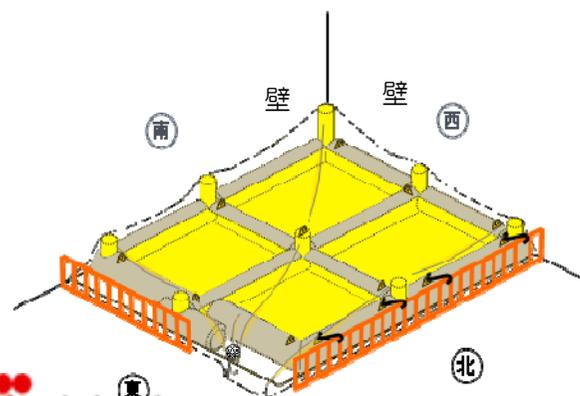
福島第一原子力発電所1号機 原子炉建屋3階 機器ハッチ開口部バルーンずれ対応状況について

< 参考資料 >
2015年6月11日
東京電力株式会社

■ 調査結果

- ・バルーンずれ状況を確認した結果、バルーンを覆う雨カバー上に瓦礫や飛散防止剤が滞留していることを確認
- ・バルーン自体には損傷等ないこと、ならびにバルーンに空気を供給する空気圧縮機に異常がないことを確認
- ・雨カバーに取り付けられた雨水排水口およびドレンホースが閉塞していないことを確認

	調査・点検内容	結果
1	雨カバー上の堆積状況	<ul style="list-style-type: none"> ・約200mm×150mm×50mmのコンクリート片他複数の瓦礫を確認 ・雨カバー表面に瓦礫落下時のものとみられる傷を確認 ・飛散防止剤の滞留跡を複数確認
2	雨水排水口、ドレンホースの閉塞状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水口、ドレンホースが閉塞していないこと確認
3	雨カバー下部のバルーン上面の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・バルーン上面に瓦礫がないことを確認 ・バルーン南東部分に飛散防止剤と思われる滞留跡を確認 ・バルーン表面に損傷がないことを確認
4	雨カバー外周の固縛状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一箇所損傷していることを確認
5	バルーン供給用空気圧縮機の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・空気圧縮機に異常がないことを確認 ・供給圧力が規定値（約19kPa）であることを確認



調査結果

<p>(1) ガレキ (最大のもの)</p>	<p>(2) 雨カバー上部の飛散防止剤滞留跡</p>
 <p>コンクリート片 約200mm×150mm×t50mm (約3.5kg)</p>	 <p>原子炉建屋3階 飛散防止剤の滞留跡は複数箇所あり</p>
<p>(3) 雨カバー表面の傷</p>	<p>(4) バルーン上面の飛散防止剤滞留跡</p>
 <p>雨カバー表面に傷 (約10mm) があるが、貫通はしていない</p>	 <p>バルーン上面 (雨カバー下部) に飛散防止剤の滞留跡</p>